

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業論 Antrepreneur		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(上級ビジネス実務士必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
起業家教育Ⅰ・Ⅱ、起業演習、経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅠ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
起業家教育Ⅱ、経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅡ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12:10~13:00		授業中に指示します
授業の概要				
<p>はじめて起業を学ぶ人を対象とした講座である。ここでは、わが国の起業の現状と課題を概観した後に、起業活動の経済的意義や起業活動への支援を取り上げ、起業活動の構造と起業活動を支える要件を考察する。次いで、各論として女性による起業とシニアによる起業の問題を取り上げ、多様化するわが国の社会における起業の意義や重要性について考える。受講者は、わが国の起業活動の状況を理解して、将来、起業家になることを目指すときの基本的な知識をえることができる。</p>				
授業の目標				
<p>①経済社会における起業活動の意義や役割について説明できるようにする。  ②わが国経済社会における女性起業家とシニア起業家の現状とその意義を説明できるようにする。  ③起業に関する時事的問題を説明できるようにする。</p>				
授業の方法				
講義方式、履修者の理解を深めるために対話方式を取り入れる。また、DVDによる映像を教材として使用する。				
学習の成果(学習成果)				
労働の多様化するが進展する中であって、他人に雇用されない労働としての起業の優位性を説明し、わが国起業の個別問題として女性やシニアの働き方を起業の視点から捉え、わが国におけるその起業の現状や課題を指摘できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	起業とは			
第3回目	わが国の起業の現状と課題①(開廃業の現況、起業活動の担い手)			
第4回目	わが国の起業の現状と課題②(企業活動の国際比較、わが国起業の特徴)			
第5回目	起業の経済的意義①(起業活動と雇用の創出)			
第6回目	起業の経済的意義②(イノベーションの促進、多様な社会の実現)			

第7回目	起業時・起業後の課題と公的支援①（起業時及び起業後の課題） 小テスト	
第8回目	起業時・起業後の課題と公的支援②（起業時における公的支援）	
第9回目	わが国の女性起業家①（女性起業家の台頭とその背景）	
第10回目	わが国の女性起業家②（女性起業家の現状と課題）	
第11回目	わが国の女性起業家③（女性起業家への支援）	
第12回目	わが国のシニア起業家①（シニアの現状、シニアの就業の現状）	
第13回目	わが国のシニア起業家②（シニアによる起業、シニア起業促進に向けた提言）	
第14回目	起業論に関する理解度を確認するため、講義全般の範囲を対象とした試験	
第15回目	まとめと講義の振り返り（授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	授業に積極的に参加して、配布物資料以外の重要な事項についても主体的に調べ、授業での疑問点には進んで質問すること。
レポート	10%	起業に関するDVDを鑑賞した後、その内容をテーマに添って論理的・一貫性を以て記述すること。
調査報告書		
小テスト	10%	出題された5つの基本的な専門用語を、1問300字以内にその要点を纏めて記述すること。
試験	70%	設問の主旨を理解した上で、設問で求められている内容を必要な専門用語を使いながら一貫性を以て論述すること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。必要になった場合、そのつど資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
授業中の私語は禁止する。また、原則的に欠席・遅刻は禁止する。甚だしい時は減点の対象とする。		